

## 編 集 後 記

日本ペストロジー学会神奈川大会が11月9日・10日の2日間神奈川県民ホールと産業貿易センターで開催されました。前回は平成17年11月に開催されたので、今年は18年ぶりの開催でした。

協会にとってもビッグイベントであり、原島会長が実行委員長、理事は実行委員となり昨年の9月から実行委員会準備会を立ち上げ今回の開催まで着々と準備を進めてきました。大会会場探し、前年開催会場のさいたま大会への視察、賛助会員等への協力要請、大会テーマについての協議等一つずつ確認し、都度実行委員会で打ち合わせを繰り返してきました。

第39回日本ペストロジー学会神奈川大会のキャッチフレーズは“IPMはSDGs”。シンポジウムの企画は『失敗は成功のもと－失敗事例から学ぶペストコントロールを－』がテーマでした。そのテーマに沿った内容もペストコントロールオペレーターにとっては大変興味をそそられる講義内容でした。

一般公演は昨年まではリモートによる講演と併用していましたが、今年は通常に戻りました。進行もスムーズで前回の学会の時は進行時間の遅れや救急車が出動されるハプニングもありましたが、今回は何のトラブルもなくすべてが順調でした。

展示会場においては出店協力団体・企業が22社あり、展示内容も最新の商品等興味を惹きつけられるものもたくさんあり、多数の来場者で賑わっていました。

懇親会は前年のさいたま大会ではコロナの影響もあり座席指定の飲食でしたが、今回はホテルニューグランドで立食による懇親会でした。参加者も270名を超え、会場はあふれんばかりの人だらけで大盛況でした。

今回の学会運営は事務局の緻密な調整と協会員の協力により成功裏に終わりました。その中でも三角前事務局長が作成して頂いた運営マニュアルが大変役立ちました。次回の神奈川大会がいつ開催されるか分かりませんが、このマニュアルを協会の財産とし、次回大会に活かしていければと思います。

令和5年12月

企画広報委員会 中丸裕嗣